

特別支援教育課題

願いや思いを将来につなぐ

「キャリア・パスポート」の活用を目指して
-「キャリア・カウンセリング」の視点を反映したキャリア教育-

やまざき ひろゆき
 県立富里特別支援学校教諭 山崎 裕之

知的障害のある生徒の人間関係形成能力や課題対応能力を育てるためには、キャリア・カウンセリングの視点を反映したキャリア教育の必要性がある。本研究ではまず、「富里版キャリア・パスポート」を開発し、検証を重ねながら活用しやすいツールを目指した。これにより、生徒は自分の成長や課題に向き合うとともに、教師に助言を求めたり生徒自身で考えたりすることができるようになった。また教師も、短時間で効率的に対話ができる「ブリーフセラピー」の手法を用いることで、彼らに寄り添った支援ができた。今後も、生徒のキャリア発達を支援するためのツールとして「キャリア・パスポート」が有効活用されることや対話を重視したキャリア・カウンセリングの実践の普及に努めていきたい。

特別支援教育(知的障害)

地域貢献を通じた、

魅力ある学校づくりに向けて

おおや つばさ
 県立市原特別支援学校つまい風の丘分校教諭 大矢 翼

千葉県立市原特別支援学校つまい風の丘分校独自の特色や魅力を明らかにするために、分校として地域のニーズに応じた取組を特色としながら、生徒を対象に地域貢献活動に関する質問紙調査を行い、彼らのアイデアを生かした地域貢献活動を実施した。

地域貢献活動を通して、生徒が他者から認められたり感謝されたりすることで自己肯定感をもち、主体的な姿を引き出すことができたことは、魅力ある学校づくりにつながったものと考えている。今後、この実践を継続していくにあたり、地域のニーズを的確に把握するとともに、管理職や特別支援教育コーディネーター等、多くの教職員の理解を得て、分校がチームとなって取組を進めていく。

企業等派遣

障害者の職場定着を目指した支援の在り方について

-就労の定着にむけた基本的な力の育成に向けて-

ももせ ふくたろう
 県立大網白里特別支援学校教諭 百瀬 福太郎

厚生労働省の調査によると、障害者の就職件数は9年連続で増加している。一方で、1年後の職場定着率は58.4%となっており、半数近くが離職している現状である。本校の高等部を見てみると、これまでは普通科の卒業生の離職が目立っていた。しかし、県立障害者高等技術専門校（以下技専校）に入校し、そこから就職をした卒業生たちは、離職することなく、職場定着を果たしている。本研修では、各職業訓練を経験し、障害のある方が就職をする際の基礎知識や技能について学んだ。研究では、技専校の訓練を経て就職すると、なぜ職場定着に結びつくのか、その理由を明らかにした。研究の結果は、特別支援学校高等部の進路指導や、小学部段階からのキャリア教育に生かせるものと考えている。

企業等派遣

視野の拡充と発想力の習得を 企業努力の観点から学ぶ

松戸市立松戸高等学校教諭（前県立流山南高等学校教諭） は せ が わ りゅうのすけ 長谷川 龍之介

私は一般企業に勤めることもないまま、教員の道へと進んだ。業務をこなしていると、自身の視野の狭さに気付いた。また、一般企業に勤務経験のある同僚が物事を柔軟な思考で捉えていることに何度も感銘を受け、柔軟な発想力を養いたいと考えるようになった。そこで、一般企業に勤務することで、自身のスキルアップに繋がると考え企業研修をさせて頂いた。株式会社高島屋柏店で4ヵ月間、主に販売員として勤務したことで様々な能力の向上や獲得をすることができた。特に、お客様に対してのサービス精神を学び、生徒には手厚い指導や援助、積極的な提案を、保護者にはこまめな連絡や報告により教育の質の向上を重点として還元していきたいと考えている所存である。

教育臨床

教員の「遊び心」のある関わり

船橋市立三咲小学校教諭（前二和小学校教諭） すずき ともみ 鈴木 智実
 市川市教育センター副主幹（前富美浜小学校教諭） しおはら あゆみ 塩原 歩
 印西市立木下小学校教諭（前西の原小学校教諭） おおば ひろゆき 大場 裕幸
 いすみ市立大原中学校教諭（前国吉中学校教諭） かじ ゆりこ 梶 祐梨子

教員の「余裕・ゆとり・ユーモア」といった「遊び心」のある日常的な関わりは、児童生徒が安心して快適に過ごせる学級の雰囲気と関連があるのではないかと考え、その効果を明らかにするために、学級の観察や児童生徒へのアンケート、教員への半構造化面接での回答を基に分析を行った。分析により、観察でみられた教員のユーモアある声かけや興味関心を引きつける話題の提供、児童生徒との対話等の関わりは、児童生徒の安心感の醸成や意欲の向上等に影響をもたらす可能性があることがわかった。さらに、教員自身も大らかな気持ちで児童生徒と向き合えるという相互作用も期待される。今後は、研修会等で研究成果を広めると共に、多様な環境、実態での事例を通して、より深い効果の検証を進めたい。